YMCA オリーブ保育園　　2024 年度

すくわくプログラム　５歳児クラス

とうきょうすくわくプログラムってなあに

幼稚園や保育所において、子どもたちが好奇心や興味を持って、わくわくしながら遊び、学べるよう応援する取り組みです。取り組みを通じて、子どもたちの自己肯定感や思いやり といった豊かな心の育ちをサポートしていきます。

全ての乳幼児の伸びる・育つ×好奇心・探求心を応援するプログラム

安全安心な環境のもと、子どもたちが興味・関心を深められそうなテーマを園で設定し、
好奇心をもつきっかけを増やしたり、考えを広げ、深めたりする取り組みを行います。

山中湖キャンプの活動

・豊かな自然の中で五感を使って、好奇心や探求心を育む
・共に生活をする中で仲間の存在に気づき互いを認め合う

山中湖センターに子どもたちと保育者で１泊するという非日常を体験しました。雨の中、レインコートを着て外を散策したり、グランドの水たまりで寝転んでみたりして自然を満喫していました。また、いつもなら夕方お迎えが来るとそれぞれ家に帰っていきますが、キャンプでは家で行っている夕食や朝食を食べたり、お風呂も入り、お昼寝ではなく夜一緒にベットで寝ることをクラスのみんなで体験する喜びが感じ取れました。

お天気になるようにと持ってきたてるてる坊主をベッドの上に飾って備え付けのライトを当ててみたり、キャンプファイヤーの代わりにランタンで作った光を真ん中にみんなで歌を歌いゲームをしました。

このような体験から子どもたちは、明るい暗いということに興味を持ったので光について探めることにしました。

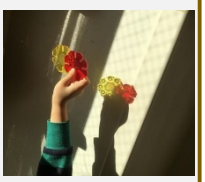
テーマ　光（明るい暗い）

☆映像を見た後、スクリーンに手をかざして影が映ることに気がついた。自分の影が動くことを楽しんでいるうちにライトの近くに行くと大きく映ることに気がつき、友だちの影を隠していた。

☆スライムに水性ペンで色を付けてみた。下からライトを当ててみたら、とてもきれいに見えた。

☆セロハンでステンドグラス作りをした。テーブルに置いている時と窓に貼った時のキラキラして見える違いに気がつき喜んでいた。

☆指の角度や壁との距離を調整すると、くっきり映ることに気がついた。重ねて色が変わることや何枚も重ねると光が通りにくくなることに気がついた。



☆「風を送ると電気が点いた」「ライトを当てると光ったよ」と風力発電など電気ができる様子を自然と触れ驚いていた。

～遊びを通した子どもの姿・・・～

子どもたちは、一人ひとり興味も持つものがあります。でもそれを友だちと一緒に調べたり、工夫することで自分だけでは思いつかなかったことが見えてくることを仲間と喜んでいる姿がよく見られました。保育園での日常生活を土台に一泊二日の非日常を体験し、さらに仲間との絆が深まり、探索活動も深まったことを感じました。

https://www.tokyoymca.org/childcare/olive/